

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		1：座位での活動を増やし、集中して制作に取り組めるよう配慮した。 2：安全な送迎と死角がない様な配慮という上で職員配置を考えている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		3：室内はバリアフリー化している。構造化については職員と検討をすすめている。 4：毎日床拭きを行ない、適宜消毒を行ない、衛生面での配慮を行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		5：クールダウンスペースを設けて気持ちを整えられる様にしている。共有スペースとは違った場所で静かに休める空間があればいいと思います。（ベッドなどもあるといいと思います）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		6：毎日の振り返りを通して、改善項目を検討し、翌日の支援に反映している。 7：保護者様の意見を汲み取り、事業所会議で話し合い、反映している様にしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		8：面談や職員日報を通じて知る様につとめている。 9：外部評価での業務課改善は再検討の必要あり。 10：メソッド研修、専門研修を進め、職員の資質向上につとめている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		11：ホームページで公表している。 12：利用者本人の意向も直接聞き、ニーズの分析も行っている。 13：共有会議は日時を決めて行い、共通理解につとめている。 14：毎日の個々の振り返りは個別支援計画を元に行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		15：WISKでの検査結果を参考にし、バインランド等も用いている。 16：全ての項目を意識した支援を行っている。 17：運動プログラム、イベントプログラム等、チームでの立案と改善を行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		18：改善につとめ、支援に生かしている。 19：平日は個別活動と集団活動と時間を分けて支援をしている。 20：打ち合わせでは支援内容、安全面に関して配慮を行える様な話し合いをしている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		21：個々の振り返り等も確実にその日のうちに行っている。 22：業務日誌で記録をとり、支援の検証につとめている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		24：基本活動には意識をし、契約の際にも組み合わせた支援の説明をしている。 25：イベント等を通じて、自己決定力の育成に着目している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		
関係機関 関 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		26：児発研修を終えた者が参加するようにしている。 27：病院への情報提供も文章を通じて行っている。 28：引継ぎ時に行っている。 29：引継ぎ書を通して行っている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		30：同じ法人内では行っている。 31：同じ法人内ではあるが連携し、助言を受ける機会を設けている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		32：地域の他の子どもという点ではやすい。 33：代表者が出席し、その内容を検討している。 34：引継ぎ時の話や連絡帳を通して、施設での様子を伝え、保護者様の気持ちも聞いている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		35：親子イベント、ステキカフェ、ステキフェス等、交流の機会を用いて聞ける様にしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		36：契約時に詳しく説明をしている。 37：評価は保護者様の意見をふまえて考え、相互の意見にするようつとめている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		38：ご理解いただける様に詳しく説明している。 39：不安を抱かれている時点でその様子を伺い、面談をしている。 40：親子イベント等を企画し、兄弟での参加も促していく。 41：迅速かつ誠実な対応を心掛けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		42：発信し、内容も工夫している。 43：丁寧且つ慎重に行っている。 44：保護者様の気持ちに立って考えられる配慮にいつも最善を尽くしている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		45：なちゅらるとしては図っていない。 ステキフェスを行ない、又地域の施設を使っている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		46：ロールプレイ等を用いて、発生を予測した訓練は行っている。 47：BCPにおけるロールプレイを行ない、連絡の仕方から対応までの訓練をしている。 48：確認をしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		49：グレーの方にも連絡をし、アレルギーには慎重に対応している。 53：グレーな事例も含めて職員の姿勢にもつとめている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			